

宮城県感染症発生動向調査情報(第49週)

宮城県【平成25年12月12日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.12.2 ~ 12.8 ・ 第49週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第46週	第47週	第48週	第49週
水痘	8 1.60	26 2.60	5 1.00	1 0.50	3 1.00	10 2.00	1 0.50	24 0.92	78 1.34	3,102	○→	◎→	◎→	◎
流行性耳下腺炎		3 0.30		2 1.00	6 2.00		22 11.00	4 0.15	37 0.64	1,101	○→	○→	○→	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	31 6.20	64 6.40	71 14.20	21 10.50	32 10.67	42 8.40	34 17.00	252 9.69	547 9.43	14,493	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	8 1.60	6 0.60		2 1.00		1 0.20		11 0.42	28 0.48	4,590	◎→	◎→	◎→	○
伝染性紅斑		6 0.60						17 0.65	23 0.40	716	○→	○→	レ→	
突発性発しん	5 1.00	2 0.20	7 1.40	1 0.50	2 0.67	1 0.20	3 1.50	15 0.58	36 0.62	1,814	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		2 0.20						1 0.04	3 0.05	2,098	→	→	→	
インフルエンザ	3 0.38					5 0.63		19 0.45	27 0.29	15,763	→	→	○→	○
咽頭結膜熱	1 0.20	1 0.10						7 0.27	9 0.16	724	→	→	→	
流行性角結膜炎						2 2.00		3 0.50	5 0.42	158	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.80	29 2.90	8 1.60	9 4.50	2 0.67	27 5.40		49 1.88	128 2.21	4,755	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			1 1.00						1 0.08	11	→	→	→	
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	14	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		4 4.00	1 1.00	2 2.00	1 1.00		10 10.00	3 0.60	21 1.75	886	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	8 1.60	3 0.30	3 0.60		1 0.33	7 1.40		42 1.62	64 1.10	1,175	○→	◎→	◎→	◎
拡張疾病			4 6	5 2			1 1	8 1			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
不明発疹症								9 9			【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※														

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第47週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(1.29)、沖縄県(0.95)、佐賀県(0.82)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は20例と前週と比較して増加した。都道府県別では14都府県から報告があり、年齢別では1~9歳(5例)、10代(3例)、20代(1例)、40代(2例)、50代(1例)、70代(3例)、80歳以上(5例)であった。RSウイルス感染症: 報告数は4,092例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約70%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(1.69)、鹿児島県(1.33)、山形県(1.07)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(5.07)、北海道(3.10)、新潟県(2.90)である。感染性胃腸炎: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮城県(17.50)、熊本県(11.66)、富山県(11.55)である。水痘: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(2.78)、福井県(2.64)、新潟県(2.31)である。手足口病: 報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(4.67)、鹿児島県(3.67)、佐賀県(2.65)である。百日咳: 報告数は減少した。都道府県別の上位2位は鳥取県(0.05)、長崎県(0.05)、福島県(0.04)、岐阜県(0.04)である。ヘルパンギーナ: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(0.34)、福井県(0.27)、山形県(0.23)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は栃木県(1.86)、福島県(1.57)、岩手県(1.53)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 増加した。都道府県別では10都府県から12例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1~4歳(7例)、5~9歳(2例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

※男児、女児は6歳未満

1類感染症: 報告なし
2類感染症: 結核
石巻管内 男性1名
塩釜管内 女児*1名
大崎管内 女性2名
仙台管内 男性1名(第48週)、男性3名

3類感染症: 報告なし
4類感染症: 報告なし
5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
大崎管内 女性1名
仙台管内 男性1名、女性1名

風しん
仙台管内 女児*1名(臨床診断例)

アメルバ赤痢
仙台管内 男性1名(第48週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

- 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

[流行性耳下腺炎]
気仙沼管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~

感染性胃腸炎集団発生事例より
栗原管内 第49週採取分 ノロウイルスG II 3件
大崎管内 第49週採取分 ノロウイルスG II 1件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	第47週採取分 (11.18~11.24)	第48週採取分 (11.25~12.1)	第49週採取分 (12.2~12.8)
RSウイルス	2件	4件	5件
サイトメガウイルス	0件	0件	1件

【侵襲性肺炎球菌感染症】

呼吸器病原性菌である肺炎球菌が、髄液または血液から検出された場合届出対象となる感染症で、平成25年4月1日から5類感染症全数把握対象疾患となった。乳幼児及び高齢者での発症が多いとされ、宮城県ではこれまで19名(仙台市を含む)の届出があり、そのうち68.4%が65歳以上の患者となっている。予防にはワクチンが有効とされている。